

令和3年度事業計画

社会福祉法人 光輪会
なかよしこども園

2. 健康管理

定期健康診断(5月・12月)
歯科検診(5月)
身体測定(4・7・12・3月)
(身長・体重)

3. 栄養管理

給食食事の指導指針

- ◎ お箸の持ち方や食器の置き方を正しく教える。
- ◎ 0歳児は指先の訓練のために手掴み食べも積極的にさせる。
- ◎ かむときは、口を閉じて奥歯でしっかりと噛ませる。
- ◎ 幼児はお当番を決め順番に保育士の手伝いをする。
- ◎ 食事中は行儀よくこぼさずに楽しくいただく。
- ◎ 三角食べて、好き嫌いをしないようにする。
- ◎ 栄養士が保育教諭と常に連携をとりながら、食育指導に取り組んでいる。
食育年間計画を参照(最終頁)

栄養値

	エネルギー	たんぱく質	脂質
3歳児未満	500kcal	15.8g	13.9g
3歳以上児	585kcal	18.5g	16.2g

4. 給食内容

光輪会の食に関する理念

- 1、清く、正しく、情け深い人格形成を目指し、子どもたちの食に関わる。
 - 2、愛と夢と情熱をもって、日本、そして世界を背負っていける人材を食を通して育成していく。
 - 3、食を通して、社会に貢献できる人を育てる。
- この理念を踏まえて、光輪会の食に対する基本的な方針、達成させていきたい目標を定める。

食に対する方針

○光輪会の食として、自信を持って提供できる「子どもたちが生涯忘れることのない故郷の味」を伝えていき、作物への感謝、作って頂く方への感謝を伝えていく。

食に対する目標

- 1、乳幼児期に必要な選食力を身に付ける
: 私たちの行っている乳幼児教育は食形成、身体形成を培ううえで大切な時期である。この時期に選食力を身に付け食に関わる全ての人への感謝の心を育てる。
 - ・三色群の指導の徹底。
 - ・素材の味を伝え、野菜の味を脳にすり込んでいく。
- 2、日本の美しい四季を感じられる給食
: 素材の味を生かした味付けで日本ならではの和食を四季を通して提供していく。
 - ・旬の食材を生かした食の提供。
 - ・日本の行事を通して食を伝える。(平常食と特別食)
 - ・ごはん、味噌汁、おかずが基本の給食を提供する。
- 3、食の関心を育てる
: 食への関心を持ち、食の知識を得て食材に触れ、食体験を通じて好き嫌いの無い子どもを育てる。
 - ・畑で作物を育て収穫し、クッキングまでの一貫した食育を行う。
- 4、食に対する知識やマナーを培う
: 食に対する知識やマナーを知り、食を通して健康な体づくり、心豊かな人格形成づくりを目指す。
 - ・体の仕組みを伝え、摂取から排泄までの仕組みを知る。
 - ・手洗い、箸使い、三色食品群、三角食べの指導を行う。

この目標を達成できるように、園長、主幹保育教諭、保育教諭、給食従事者、全ての職員が一体となり 共通理解のもと子どもたちの食に対して取り組む。

5. 衛生

- ◎ 強酸性水及び強アルカリ水の電解水生成機で食品の消毒及び洗浄を行う。
- ◎ 調理前、用便後、汚物取り扱い後は、手指の消毒を行う
- ◎ 白衣、三角巾の着用および衣服は清潔なものを使用する。
- ◎ 毎月1回細菌検査(検便)を行う。
- ◎ 食器の洗浄、消毒を行う。
- ◎ 調理室の整理整頓に気をつける。
- ◎ 食品は、衛生な店で買い、納入後は直ちに冷蔵庫に入れる。
- ◎ 食品は前日に調理したり、残ったものを翌日に繰り越したりしない。
- ◎ 検食は児童の食べる前に行う。
- ◎ 保存食は、2週間冷凍保存する。
- ◎ 加熱調理は、中心温度計を使用し、80℃以上(75℃、1分以上)を確認する。
- ◎ 食器洗浄機で、より衛生的に食器の保存を行う

6、保 育

年間指導計画、月間指導計画、週案、日案に従った系統的、計画的保育をする。

- ◎ 挨拶のしっかりできる子どもに育てる(おはようございます、ありがとう、おねがいします、ごめんなさい等)。
- ◎ 絵本や紙芝居の読み聞かせを教育・保育の中心とし多く取り入れ、ともに感動し、命の尊さ、人に対する思いやり、そうした心の教育を強化していく。
- ◎ 乳児の保育にあたっては、愛されているということをしっかり受け止められるよう、スキンシップ、声かけに十分な配慮をし愛着形成を行う。
- ◎ いろいろな行事や活動を通し成功体験を積み、協調性、創意工夫、意欲、元気、満足感、達成感を十分に味わえるよアクティブ・ラーニングの保育を行う。
- ◎ 3～5歳児: 専門の講師による英語・リトミック・合唱・和太鼓・数の認識の指導を行う。
- ◎ 3～5歳児: 退化してしまった筋力を呼び覚ますようなサーキット運動を毎日行い、体育指導も年に数回受ける。
- ◎ 和太鼓を近隣の行事に参加し積極的に発表する。老人ホーム等にも慰問する。

7、安全管理

- ◎ 朝の掃除の際に必ず、園庭および外遊び遊具の点検、整備を行う。
- ◎ インターホンカメラを設置し顔を確認してから玄関を開ける。
- ◎ 監視カメラを設置し不審者を管理する
- ◎ 警備会社のセコムと契約し、防犯、防災に対して24時間体制を確立する。
- ◎ 110番通報装置を設置し不審者に備える
- ◎ 年に数回防犯訓練を行い、不審者が侵入した場合に備える
- ◎ ホールなどの備品、遊戯の安全確認をする
- ◎ 遊具、運動用具、おもちゃなどの正しい使い方を指導する。
- ◎ 廊下の正しい歩き方などを教える。
- ◎ プール遊び、水遊びなど指導および諸注意などの確認をする。
- ◎ 冷暖房器具の点検と正しい使用方法を確認する。
- ◎ 備品、遊具、玩具などの破損点検と整理整頓を行う。
- ◎ ガラス破損(物を投げる、悪ふざけ、ボールをぶつけるなど)の防止
- ◎ 非常口の管理及び確保を徹底する。

2. 職員処遇

1. 職員構成及び業務内容

園長	1名	保育教諭	9名
栄養士・調理員	委託	調理補助	委託
非常勤保育教諭	11名	事務及び庁務手	2名
		合計	23名

区分	勤務形態	名前	所属クラス	業務内容
施設長	常勤	喜多濃恵美子		園の業務を統括し、会計について責任を持つ(会計責任者)
主幹保育教諭	常勤	杉山捺美	主幹保育教諭	教育・保育に従事し、他の保育教諭の業務を管理する
主幹保育教諭	常勤	大畑亜以梨	副主幹保育教諭	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	常勤	根本香澄	3歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	常勤	尾形祐美	2歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	常勤	市村チカ	0歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	常勤	小林枝里香	4歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	常勤	鎌田美鈴	5歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	常勤	伊藤里奈	1歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	常勤	黒田悠莉	2歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	新藤由香	0歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	栗木彩乃	4歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	渋谷友美	フリー	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	稲田千枝	3歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	佐藤純	2歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	中村育代	1歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	宮上エミ	1歳児	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	藏本恵子	センター	子育て支援センター業務に従事し、計画立案、実施、記録業務を行う
保育教諭	非常勤	齋藤一美	センター	子育て支援センター業務に従事し、計画立案、実施、記録業務を行う
保育教諭	非常勤	下雅意広美	フリー	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	鈴木安奈	フリー	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	折茂加代子	フリー	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
保育教諭	非常勤	山田梨乃	フリー	教育・保育に従事し、計画立案、実施、記録及び家庭連絡などの業務を行う
事務・庁務手	非常勤	伏見麗子	事務・庁務	園長を補佐し事務処理を行い、保育教諭の業務を補佐し園の雑務を行う。
庁務手	非常勤	小林澄江	庁務	園長を補佐し事務処理を行い、保育教諭の業務を補佐し園の雑務を行う。

2、健康管理

乳幼児の健全な育成のためには、職員自身の健康が第一である。
職員の健康管理についても、十分に留意していきたい。

定期健康診断	毎年1回	正職員(35歳、40歳以上の正職員に対してはこのほかに心電図の検査を行う)非常勤職員同じく行う。
検便	毎月 4月、6月、12月、2月	給食従事者・0歳児職員 職員全員

その他、必要に応じて臨時健康診断を行う。

3、処遇会議

職員会議	毎月1回	職員全員(事例検討会議)
乳児会議	毎月1回	0・1・2歳児・一時預かり職員
幼児会議	毎月1回	3・4・5歳児職員
支援センター会議	毎月1回	センター担当職員
アレルギー食会議	年2回	保護者・担任及び栄養士

それぞれの会議はその他必要に応じて行う場合がある。

4、福利厚生

ソウエルクラブ	全額 園負担
懇親会	園負担分については支払額の半額以上超えないものとする
研修会	全額 園負担
慶弔費	就業規則に記載

5、研修計画

令和3年度研修計画

月日	対象地域	主催	研修内容	対象
5月	西部地区	埼玉県保育協議会西部地区	総会及び研修会	園長・職員
5月	埼玉県	日本保育協会埼玉県支部	総会及び研修会	園長・職員
5月	ほよう会	会員園	新人研修研修会	園長及び3年未満職員
6月	全国	日本保育推進連盟	中央研修会	園長・職員
6月	埼玉県	埼玉県保育協議会	養成委員会研修	園長・職員
6月	埼玉県	日本保育協会埼玉県支部	県内研修会	園長・職員
6月	西部地区	埼玉県保育協議会	養成校情報交換会	園長・職員
6月	若狭地区	若狭4丁目自治会	4丁目自主防災訓練	園長・職員
7月	関東地区	関東ブロック保育協議会	関東地区保育研究大会(埼玉県大会)	園長・職員
9月	埼玉県	埼玉県保育協議会	初任者・中堅職員研修会	園長・職員
11月	西部地区	日本保育協会西部地区	西部地区研修会	園長・職員
04年1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	新春研修会	園長・職員
04年1月	埼玉県	埼玉県保育協議会	新春研修会・賀詞交歓会	園長・職員
04年1月	園内研修	東所沢たんぽぽこども園	園内研修会	園長・希望職員
04年2月	西部地区	日本保育協会西部地区	西部地区研修会	園長・職員
04年2月	埼玉県	埼玉県保育協議会	新任職員研修会	新人・1年未満職員
開催月	所沢市	所沢市教育センター	保育園・幼稚園・小学校職員対象研修会	希望職員

保 護 者

1、内定面接

- ① 所沢市より内定の園児が通知される。
- ② こども園と内定者の保護者とで内定面接の日程を打ち合わせる。
- ③ 内定者と保護者に対して園長・主幹保育教諭がしおりをもとに面接をする。
- ④ 保護者に対して園の様子を説明したり、保育時間の確認をする。
- ⑤ お互いに問題がない場合は、園が所沢市に対して、受託の決定を報告する。

2、受け入れ保育期間

基本的には1週間。

ただし、保護者勤務状況及び園児の体調を考慮し期間を変更する場合がある。

3、保育参加等

保育参加	年1回（年齢によって指定）	その他希望者には相談により
個人面談	年1回（年長9月、他の児童2月）	

4、行事への参加

春の親子運動会、地域行事への参加、世代間交流事業、お遊戯会、お別れ会等への参加協力 三ヶ島地区ボランティア協会の行事

5、保護者の行事へのお手伝い

運動会、お遊戯会等に3歳以上の園児の保護者の方にお手伝いをお願いする。

災害対策

- 1、避難消火訓練毎月1回実施 （別紙参照）
- 2、総合避難訓練(年2回)
- 3、防災設備の点検
- 4、緊急連絡メールの受信訓練(年3回)

地域社会との関連

- 1、近隣自治会行事への参加
- 2、三ヶ島地区ボランティア協会への参加
- 3、小学校訪問
- 4、小学生の社会体験学習受け入れ
- 5、中学生の職場体験・3年生家庭科授業の受け入れ
- 6、保育士・調理師・栄養士の養成校実習の受け入れ
- 7、高校の職場体験受け入れ
- 8、ボランティアの受け入れ
- 9、民生委員様との交流
- 10、三ヶ島地区老人施設への慰問
- 11、その他地域との交流の積極的な参加

令和3年度 光輪会 食育年間計画表

食育年間テーマ																
食材に触れ、体験を通じて、「食」への関心を高め、食を楽しむ心を育もう！																
食育指導の4つのポイント																
<ul style="list-style-type: none"> ・季節の移ろいを感じ、様々な旬の食材に触れる事で、変化に気づく子ども達の感性を育む。 ・日本の食文化・食の知恵・味を知ること、正しい作法を身につけながら子ども達の味覚を育てる。 ・食と農業のつながりから、自然の恵みに感謝する豊かな心を育む。 ・自ら作る体験を通し、「食材」や「食事」に興味を持ち、食事を楽しむ心を育む。 																
1学期				2学期				3学期								
4月				5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
目標				環境に慣れ、食事をおいしく食べましょう。				友達と一緒に協力して取り組みましょう。				衛生管理を身につけ、調理を楽しみましょう。				
食育活動	三角食べ皿の配置	じゃが芋	ふりかけ	夏野菜	とうもろこし	おはぎ	さんま	さつまいも	おにぎり	クッキー	恵方巻き	味噌汁				
ねらい	順番にバランスよく料理を食べることができる。	旬の野菜を知り、旬の野菜を使った調理を楽しむ。	料理を作る前には手を洗うことを知る。	野菜に直接触ったり、野菜の名前を知る。	とうもろこしの皮をむき体験や味わう。	彼岸の食文化を知り、おはぎを作って味わう。	旬のさんまについて知る。お箸を上手に使いさんまの骨をとる。	旬の食材を知り、調理を楽しむ。	日本の米を知り、味わう。	料理を作る時の手洗いと身支度について知る。	節分について知り、恵方巻きを作る。	味噌の材料を知り、味噌汁を作る。				
未満児	こども園の食事になれるよう、食べやすい献立にし、月齢や個人差に合わせた関わりをする。	じゃが芋料理を食べることで旬の野菜のおいしさを伝えていく。	手洗いの徹底。食事の際の声掛けにより、色々な食材について知れるよう関わる。	絵本などを通して身近な野菜に興味を持てるよう関わる。	とうもろこしなど夏野菜について話をし、興味を持てるようにする。	絵本等で日本の食文化について知らせる。	旬の魚についてしり、おいしく食べられるようにする。	さつまいもについて興味をわくようにする。年齢によっては収穫体験を試みる。	食具の使い方に慣れ、自立食べができるよう関わる。	食事前の身支度について知り、自ら行えるように促す。	節分について絵本等で伝える。食具の使い方確認を行う。	様々な食材や調味料の味を知り、楽しく食べられるようにする。				
3歳児	食欲がわくような食器を選ぶ。三角食べについて伝える。個々に関わっていく。	図鑑等でじゃが芋について調べたり、じゃが芋料理を作ったり、食べることで食の楽しさを伝える。	手洗いの徹底。手作りふりかけができることを知り、やってみたい気持ちを育む。	野菜の栽培を通して、食べ物が育つ過程を知らせる。食器の置き方を伝える。	調理される前の野菜を見ることで香りや感触の違いを伝える。	絵本等で日本の食文化について知らせ、行事ごとに食べるものにも関心を持てるようにする。	旬の魚について知り、感謝して食べられるようにする。「いただきます」の意味を伝える。	収穫体験を通して、旬の野菜に興味を持てるよう関わる。	箸に興味を持てるよう関わる。米の感触も味わえるよう声掛けをする。	食事前の身支度が身に付き、料理前にも行えるよう知らせていく。クッキー作りを楽しむ。	節分について伝える。食器の置き方を確認する。	味噌の作り方を伝え興味をわくように関わる。いつも以上に味わって食べられるようにする。				
4歳児	三角食べの効果伝え、バランスよく意識し食べられるように関わっていく。	図鑑やじゃが芋の育ちを見ることで、旬の野菜について知る機会をつくる。手洗いの徹底をする。	手洗いの徹底。実際にふりかけ作りを体験し、食に関しての意識を高める。	野菜の栽培を通して、食べ物の大切さを伝える。旬の違いにも気づけるようにする。	とうもろこしの皮をむき体験をすることで食材準備に興味を持てるよう関わる。	日本の食文化に興味を持てるよう関わることで、ご先祖様への感謝の気持ちを育む。	旬の魚について知り興味を持てるよう関わる。「いただきます」の意味を伝える。	収穫体験を通して、旬の野菜に興味を持てるよう関わる。育つ過程について知り探求心も育む。	おにぎり作りを通して、力加減等を知るきっかけ作りをする。自分で作った喜びを味わえるようにする。	正しい手洗い方法を意識して行えるよう関わる。粘土等でクッキー作りの真似をし想像力を育む。	節分の意味を知り、日本独自の行事や食文化に興味を持てるよう関わる。	味噌の作り方を伝え興味をわくように関わる。友達との会話を楽しみながら食べられるようにする。				
5歳児	友達の様子を見ながら更に三角食べを意識し、バランスよく食べられるよう声を掛けていく。	じゃが芋の成長過程を見たり調べたり、じゃが芋料理を食べることで収穫に向けての意識を高める。	手洗いの徹底。野菜の収穫で食べ物に興味を持てるよう関わる。	野菜の栽培を通して、農家や食事を作った方への感謝の気持ちを育めるようにする。	ひとつの食材からいろいろな調理方法を知りものや人に感謝できるように関わる。	日本の食文化について知り、おはぎ作りを体験することで、よりご先祖様への感謝の気持ちを育む。	旬の魚について知り、実際に触り焼き上がる過程を見る。五感全てを使って感じられるようにする。	収穫体験、調理体験を通して食に関わり興味をわくよう関わる。	日本の米特有の粘り気や、触感だけでなく食感からも感じられるよう関わる。	正しい手洗い方法を意識して行えるよう関わる。遊びの中からも食に対しての創作力や想像力を育む。	節分について知り、友達と一緒に恵方巻きを作る喜びを感じられるよう関わる。	味噌の作り方を知り、いつも以上に味わって食べられるようにする。友達との会話を楽しくする。				
保育との関わりで大切にすること	こども園の食事に慣れてもらえるよう声掛け等配慮する。	食中毒予防普段から行う手洗いの大切さを伝える。	食べ物を触る前の約束として、手を洗うことを身につけさせる。	野菜ごとの違いを、見た目だけでなく触ることで感じさせる。	調理される前の状態を見せ、とうもろこしそのものの香りや感触を感じさせる。	行事によって食べる料理があることを伝え、行事と食事について関心を持たせる。	生のさんまから焼き上がるまでの過程を、五感全てを使って感じられるように促し、「いただきます」の意味を伝える。	さつまいもを旬の香りや感触を感じながら、おやつから旬を感じさせる。	手で握るときの手のかたや握るときの力加減を知る。日本の米特有の粘り気等を感じられるようにする。	食べ物を触る前の約束として、正しい方法で手洗いが出来るようにする。	恵方巻きと太巻きの違いを伝え、節分に食べる料理について伝える。	味噌汁を話題にして友達とコミュニケーションをとることができるようにする。				